

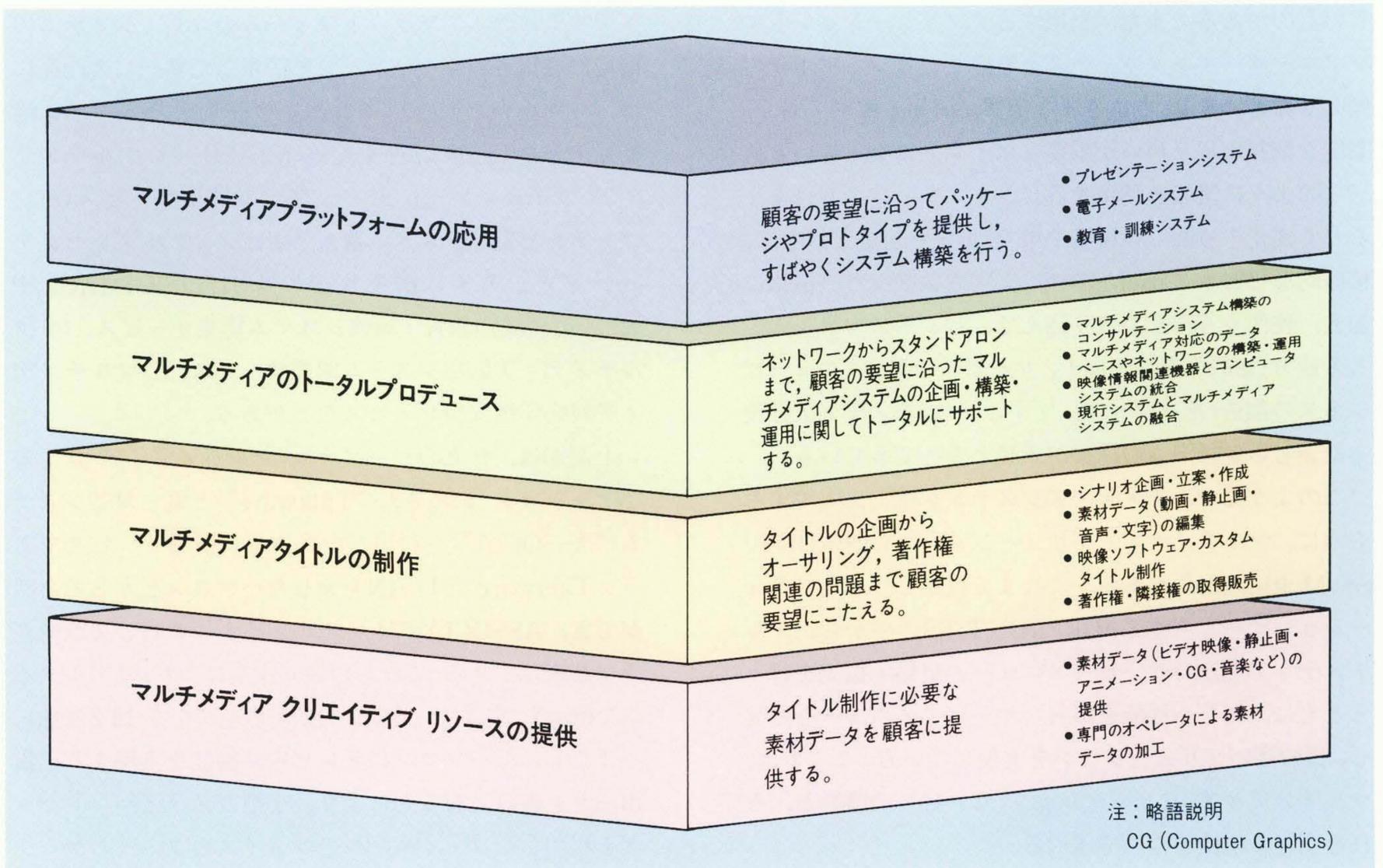
企業情報システムのマルチメディア化を実現するソリューションサービス

Multimedia Solution Service : Service for Constructing Multimedia System

朝倉 久* Hisashi Asakura

船橋義孝** Yoshitaka Funabashi

高島数秀** Kazuhide Takashima



マルチメディアソリューション

最新・最先端の技術を駆使し、高度な情報を活用することにより、人と人・人とシステムの新しいコミュニケーションの実現を図ることができる。

企業情報システムを構成する情報機器の小型化・高性能化、ネットワーク伝送技術や通信方式の高品質・高速化などに向けた高度化により、企業での情報処理は新しい時代に入ってきている。この新しい時代に向け、高度な情報技術を駆使し、顧客の多種多様な要求にこたえて最適なマルチメディアシステム構築をするのが、マルチメディアソリューション“FORFRONT/SS-Multimedia”である。

マルチメディアソリューションは、顧客の目的に

応じて、マルチメディアを応用した情報の作成から、その情報の活用、活用のためのシステムの導入、構築、運用に至るまでの問題解決に対応した商品群で構成している。

(1) パッケージ類の活用、(2) システム構築、(3) マルチメディア情報の作成、(4) 流通コンテンツの活用から作成までの処理、および機器の調達などのサポートは、一つ一つのサービス商品になっており、顧客が必要に応じて選択できるようにしている。

* 日立製作所 ビジネスシステム開発センタ ** 日立製作所 情報システム事業部

1 はじめに

パソコン(パーソナルコンピュータ)、ワークステーションおよびLAN・WAN(Wide Area Network)を利用したネットワークコンピューティングの高度化、広域網や構内網を利用したシステムの情報量の増加には目覚ましいものがある。また、利用するアプリケーションもエンドユーザーインタフェースを考慮してビジュアル化の傾向が顕著になり、さまざまな情報が流通し始めており、高度な情報の取り扱いが重要なポイントになっている。

このように情報を活用するビジネスチャンスも目まぐるしく変化する激しい環境の中で、単なる対応ではなく、積極的なビジネス展開ができ、文字や数字などの情報に加え、映像や音声まで取り込んで、ビジネスマン1人1人の能力(知的生産性の向上、サービスの拡充、ニュービジネスの創造)をパワーアップする、マルチメディアを使った新しいシステムの構築が重要となってきた。

このようなマルチメディアシステムを確実に実現するものに、マルチメディアソリューション“FORFRONT/SS-Multimedia”がある。これまで提供してきたソリューションサービス体系FORFRONT/SSの中から、マルチメディア関連のサービスメニューの整備・拡充を行うとともに、新しい機能を持ったサービスメニューを開発し、質の高いソリューションを実現している。ここでは、マルチメディアソリューションサービスの概要と、それを支える技術について述べる。

2 マルチメディアソリューション

—FORFRONT/SS-Multimedia—

マルチメディアソリューションは、次の4種類の商品群で構成している(図1参照)。

(1) マルチメディアプラットフォーム応用ソリューション

マルチメディアプラットフォームのうち、システムの構築に適用可能なパッケージを活用したサービス商品には、(a)マルチメディアコミュニケーションシステム構築サービス(TalkwareやASSOCIA版)、(b)マルチメディアコミュニケーションシステム構築サービス(パソコンテレビ電話システム版)、(c)ビジュアルプレゼンテーションシステム構築サービス(HIVISS/IMAGE/P版)、(d)企業内教育・研修システム構築サービス、(e)マルチメディア応用システム開発サービス、(f)マルチメディア対応学習支援サービスなどがある。

上記(a)は、日立のパーソナルマルチメディアコミュニケーションシステム“Talkware”と電子対話システム“ASSOCIA”を利用したシステム構築サービスである。TalkwareではLANを介したパソコンどうしで会話ができ、ASSOCIAではパソコンどうしで同じ文章やグラフが表示できる。これらの共同作業により、リアルタイムな指示や、すばやい的確な判断が可能になる(図2参照)。

また(b)は、パソコンにテレビ電話機能を実現する拡張ボードを組み込むことにより、小型カメラとハンドセットを利用したフェイス ツーフェイスのコミュニケーションシステムを構築するサービスである。遠隔地の相手

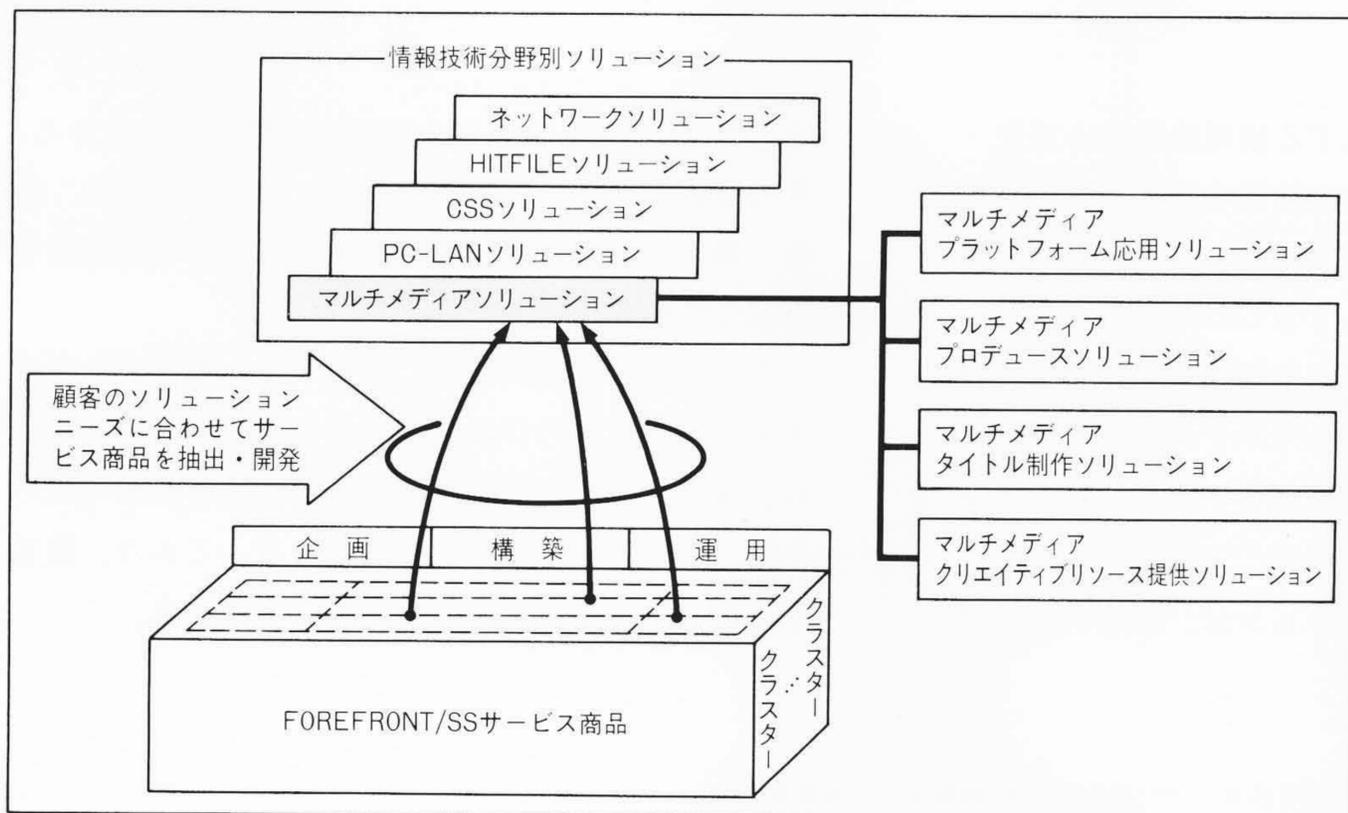


図1 FOREFRONT/SS-Multimediaの構成
従来のソリューションと連携して、高いレベルのソリューションサービスを提供する。

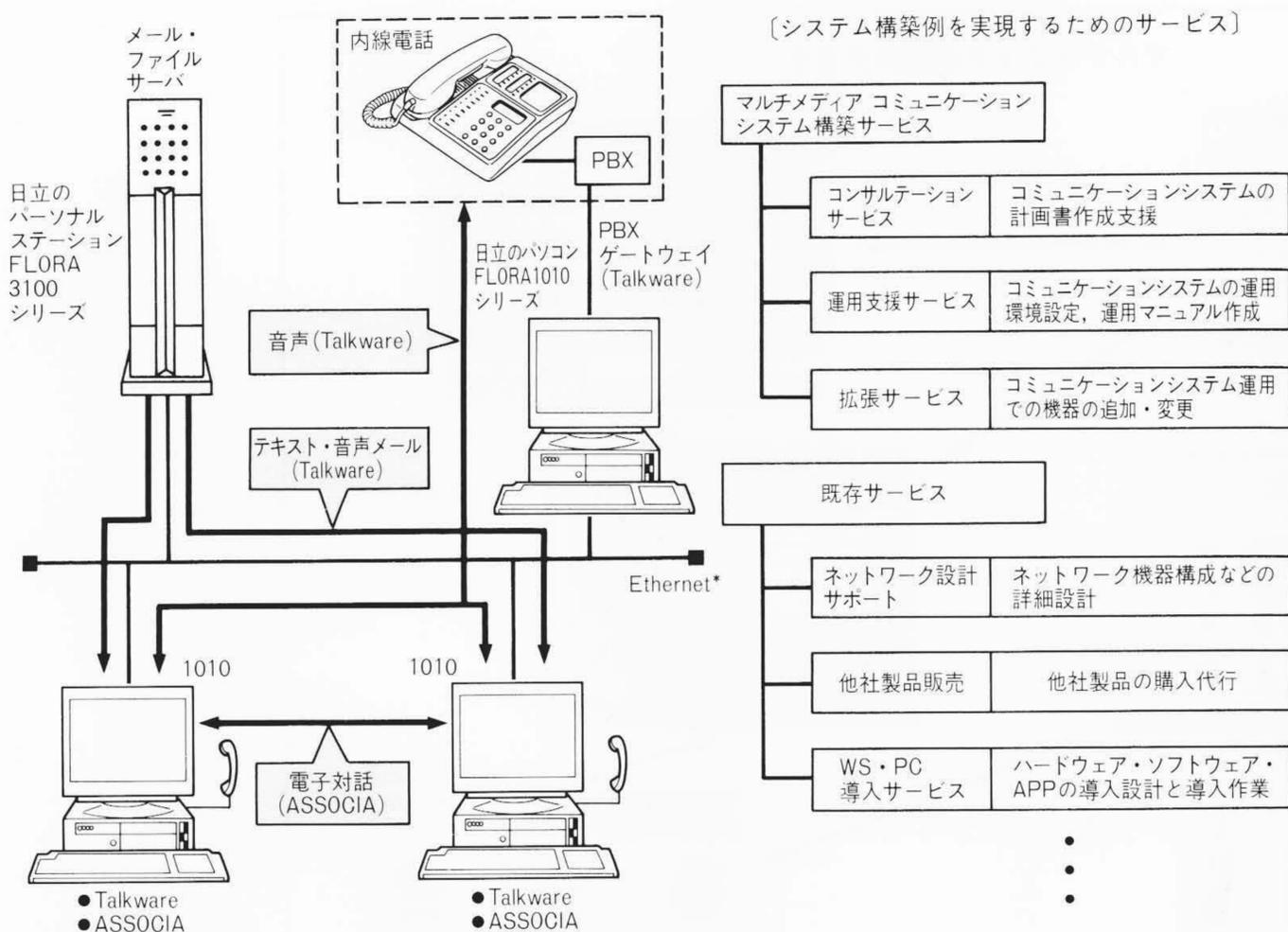


図2 TalkwareとASSOCIAの構成
 コミュニケーションシステムと電子対話システムの組み合わせにより、遠隔地間での共同作業を実現する。

の表情を見ながらきめ細かな打ち合わせや商談ができ、迅速で的確な意思決定が可能になる。(c)は、静止画・動画・音声・図形・文字などを組み合わせて情報に深みを持たせた表現を行う場合、多大な工数と技術的センスが要求されるが、HIVISS/IMAGE/Pを使うことにより、これらの基になる情報を容易に組み合わせ、プレビューなどを簡単に繰り返し、目的に応じたビジュアルで効果的なプレゼンテーションが行えるシステムの構築に対応する。

(2) マルチメディア プロデュース ソリューション

このサービス商品は、顧客の個別のマルチメディアシステムの企画・構築・運用に関するものである。企画では、映像関連機器の選定やデータ圧縮方式・格納方式の検討を、構築ではプログラムとタイトルの連動確認を、運用ではマルチメディアパソコン(例えば、日立のパソコン FLORA1010シリーズマルチメディアモデル)の導入・保守などをそれぞれ従来のサービスに加えることにより、マルチメディア対応の新しい技術を活用したシステムとその導入のためのサービスを提供している。

(3) マルチメディアタイトル制作ソリューション

この商品は、顧客の業務に必要とされるコンテンツについて、マルチメディアタイトルの企画・立案から、素材データの作成・編集、オーサリング、メディア制定〔CD-ROM(Compact Disc Read-Only Memory), MO

(Magneto-optical:磁気光)ディスクなど〕に至るまでをサポートしている。

(4) マルチメディア クリエイティブ リソース提供ソリューション

マルチメディアタイトルやシステム構築に必要な、適切な仕様による素材データの著作権関連業務に関すること、映像情報などの提供から、顧客が所有する素材データの加工・編集など、要望に応じたサポートを行う。

3 適用事例

3.1 電子カタログを使ったマルチメディア通信販売

従来の通信販売の商品紹介メディアの長所を融合したマルチメディア(動画・静止画・音声・テキスト)オンラインカタログを、通信販売の主要商品であるアパレル商品によって制作し、ユーザーが検索端末からユーザーフレンドリーな操作でセンターサーバへアクセスして、アパレル商品などの選択を行えるようにし、注文書の発行を可能としている。マルチメディアプロデュースソリューションサービスを活用している(図3参照)。

3.2 電子新聞実験

通信インフラストラクチャの整備により、今後、情報伝達経路が多チャンネル化することが予想される。これに向けた新聞が、従来の紙上の情報提供からどうあるべきか、その将来像を描く顧客の実験に対し、マルチメディア

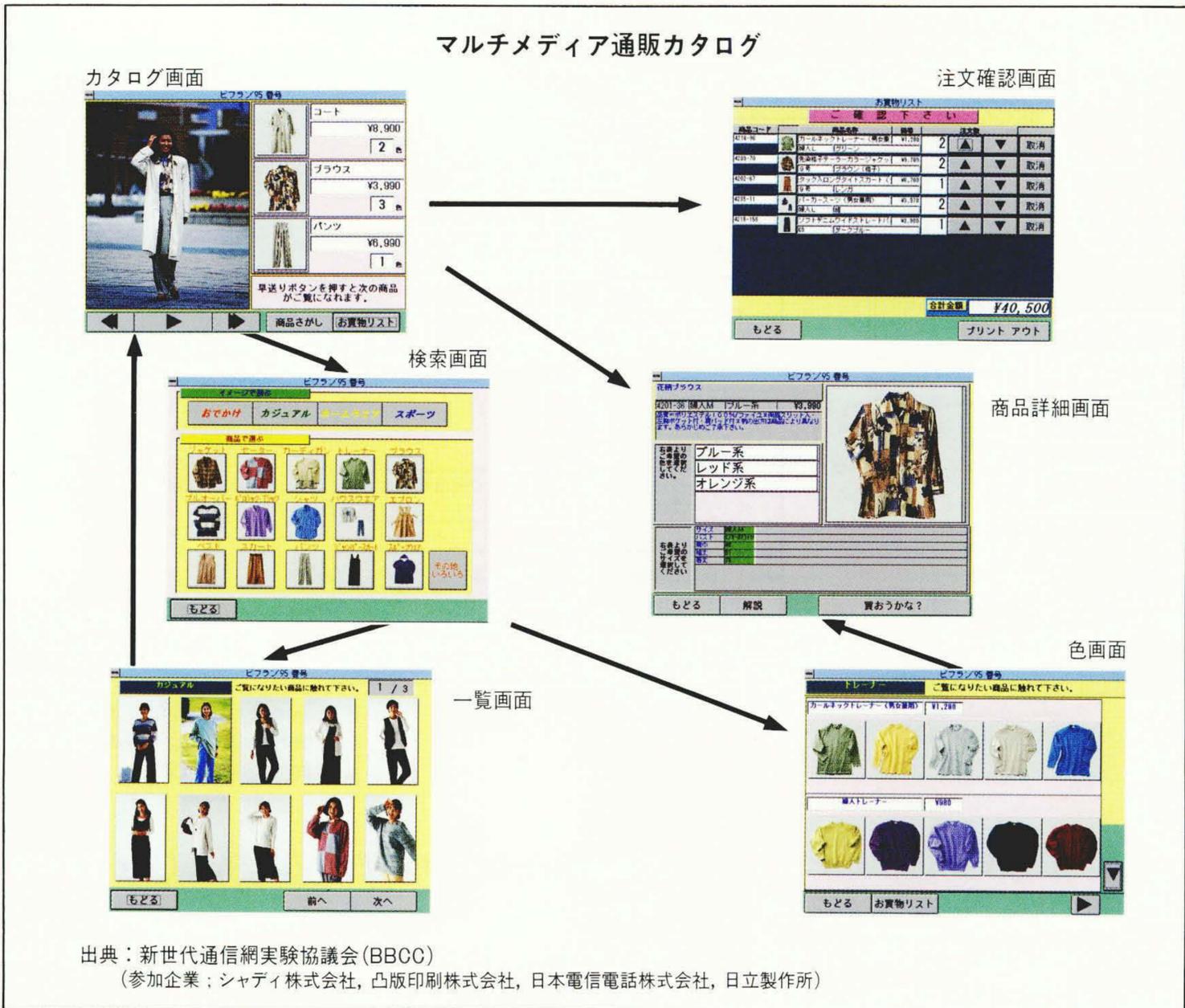


図3 電子カタログを用いたマルチメディア通信販売画面でタッチすることにより、目的とするものの表示または目的の処理が簡便に行える。

アプロデュースソリューションサービスを活用し、実験システムの構築から実施に向けた企画運営を行っている。

3.3 工場設備レイアウト最適配置

設備装置と装置間の物流量をビジュアル化するために、マルチメディアタイトル制作ソリューションを適用した。

原料の入荷から製品の出荷に至るまでの個々の製造過程での物の流れを装置ごとに与えることにより、設備装置の配置を変更した場合に対応して、物の流れや経路長などをビジュアル化する。このことにより、ボトルネックとなる点が容易に可視でき、問題点が把握しやすくなり、解決策として設備装置を含む諸設備の最適化レイアウトを決定することができる。

4 おわりに

ここでは、ビジネス環境にマルチメディア技術を導入するために必要な、日立製作所が提供するソリューションについて述べた。

企業の情報システムは、ライトサイジングやエンドユーザーコンピューティングの進展によって、大きな変革を迎えようとしている。マルチメディアもその一翼を担うものとして期待されている。また一方では、基幹業務でもマルチメディア技術を取り込んだシステムの構築がこれから本格的に始まろうとしている。

今後も、蓄積した技術やノウハウと技術の開発・展開を通じてユーザーニーズにこたえていく考えである。

参考文献

- 1) 新世代通信網実験協議会：BBCC特定アプリケーション、「電子カタログを用いたマルチメディア通信販売の研究」に関する中間報告書(平6-9)